

館報

笑楽好



12月号

やまがた

No. 812

令和5年
(2023年)



地域の身近な存在で70年

すやま りょうた
須山 亮太さん (小坂)

市内の建築会社に勤めている須山さん。会社は昭和20年代に創業し約70年、地域の身近な存在です。最近、役場近くの旧教員住宅で行われた、おためし住宅改修体験『みんなで家DIY!』では経験を活かして講師を務めました。仕事に追われる毎日ですが、休日は家族で趣味のキャンプに行き、リフレッシュしているそうです。「地域の方がたのお困りごとを解決することに、仕事のやりがいを感じています」と笑顔で話してくれました。

(12月1日 有限会社 親和住宅社屋にて)

働姿

告知板

運動会代替イベント

新春やまがた
ニュースポーツ
イベント

1月28日(日)開催!

詳しくはこの館報と同時に全戸配布されるチラシをご覧ください。

お問い合わせ
山形村公民館 ☎0263-98-3155

山形村消防団
ラッパ隊激励式

12月6日(水)から8日(金)までの3日間に及ぶ吹奏訓練に臨むラッパ隊の激励式が12月6日(水)、トレーニンングセンターふるさと大ホールにて、行われました。例年、激励式初日はラッパ正装という法被、白帽子、白ベルトなど着用という身なりで訓練に参加していましたが活動服導入によりこの日は活動服での訓練参加者も見られました。

訓練では出初式での分列行進を想定した行進曲や式典の曲目などを鼓隊とともに吹奏しました。日頃の練習を積み重ねたラッパ吹奏は音色の綺麗さと鼓隊の力強さが合わさ



り本番さながらの意気込みが伝わってきました。また山形村消防団では、12月25日(月)から30日(土)にかけて年末特別警戒のため各地区の巡回も実施します。火の始末や防火、防犯対策を心掛けましょう。

上竹田分館ウォーキングイベント

11月12日(日)、上竹田分館主催『健康ウォーキング』が開催されました。

公会堂前に小学生11名、幼児11名を含む参加者104名が集い、ウォーキングサポートの笠原あや子さん(上竹田)から、お話しいただき約3kmのコースへ出発。途中、秋葉様(防火・火の神様)、馬頭観音の説明を青沼永廣(区長)から受け山形村史跡穴観音に着。命名のいわれを聞いたのち、高台のお堂横まで坂道を登り、最後の見性寺を経由して公会堂へ戻り、豚汁に長芋の千切りを添えて昼食をいただきました。

「開催前日は朝方に雨も降り、寒くて心配しました。今日は、陽も射す好天に恵まれて安堵しています」と分館長の宮沢栄さん。穴観音で、坂を転げ遊ぶ子どもたちの喜びようが、行事の成功を物語っているようでした。



やまのこまつり

11月19日(日)、『第28回やまのこまつり』がやまのこ保育園にて開催されました。天候にも恵まれ、幅広い世代の多くの人で賑わっていました。恒例のパザール、ワークショップ、パネルシアター、飲食物の販売に加え、やまのこ食堂が4年ぶりに開催され、来場されたお客様もくつろいで食事されていました。

実行委員長の宮沢由衣さん(小坂)は、「今年2回目のやまのこまつりは、念願の食堂復活をすることができ、たくさんの方に利用していただきました。今回のまつりでは、コロナ禍で少し沈んでしまった雰囲気も戻ってきたように思います」と話してくれました。



山すそ

年の瀬です。皆さんにとって今年のはどんな年でしたか。1月に立てた新年の抱負は達成できたでしょうか▼私は何を願ったかも忘れませんでした。大した願いではなかったのでしょうか。今、眠れないほど苦しくないのは幸せなことです▼漠然とした不安は、紙に書き出すようにしています。自分が何を恐れているのか、具体的な状況が想像できれば対処する手立が見えてきます。取り越し

苦労の場合も多いですし、少しでも備えておくと気持ちも軽くなります▼時代の流れが速いので、疑問に思ったらなるべくすぐ調べるよう心がけています。マスコミによる報道と同様、鵜呑みにするのは危険ですが、書籍やインターネットでも情報が得られます。自分で調べることで、より詳しく知ることができ、世界の見え方が変わります▼気軽に行動したことその継続によって、毎日の楽しみも増えました。好きなことややりたいことがもしも誰かの役に立つなら、それは最高の喜びですよ▼願いや幸福について書いてみました。何かのヒントになると嬉しいです。

図書館からのお知らせ

*年末年始休館のお知らせ

12月29日(金)~1月3日(水)まで、年末年始休館です。

ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

*「けん玉教室」参加者募集

講師がカッコいいパフォーマンスを見せてくれます。

日時：1月27日(土) 午前10時00分~11時00分

場所：トレーニングセンター ふるさと大ホール

講師：常田大輔さん(朝日村)

定員：20人(先着順)

お問い合わせ・申し込み 山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.67 編集=山形村図書館

魅惑の図書館 ナイトライブラリー開催

10月20日(金)、26日(木)の2夜に渡って、図書館内でナイトライブラリーが開催されました。夜の図書館は魅惑的、独特の雰囲気です。



村内で活動する『おはなしの会』の皆さんが、大型絵本、紙芝居、朗読、語り、落語など、多彩な物語を繰り広げます。10月に合わせたハロウィンの飾りつけが、更に雰囲気盛り上げます。2夜でのべ51人がおはなしの世界に酔いしれました。「毎年楽しみにしています。」

どつぱり物語に浸れる感じが好きです」と参加者が感想を寄せてくれました。「夏休みに怖いお話の会もやってほしい」と子どもたちの声も聞かれました。20代から70代の物語好きなメンバー。お仲間も募集しているそうです。問い合わせは山形村図書館まで。



消しゴムハンコで、味のある「マイブックカバー」作り

12月3日(日)、トレーニングセンターめばえの部屋で消しゴムハンコのワークショップが開催されました。講師の太田かおりさん(上竹田)がデモンストレーションをした後、おのおの図案を選び彫り始めました。



コツを丁寧に教えていただき作業開始。「シーン」という音が聞こえそうなくらい集中してカッターを動かしました。単純な形だったら15分程度で

完成します。試しに押ししてみるどリンゴや、葉っぱ、雪だるまなどが何とも味のある作品に。いくつかのハンコを組み合わせたリ、スタンプの色を変えたりすると、まったく別の雰囲気になります。「子どもの誕生カードにします」「年賀状に使う」「布用スタンプで押したらエコバックになるね」と、ハンコひとつでいろいろ遊べそうです。



図書館ではハンコづくりのヒントになる本を用意しています。ご活用ください。

2024本との新しい出会い「開運帯くじ」でおおっ!

新春1月4日(木)から「開運帯くじ」をご用意してお待ちしています。

今年図書館に入った本の『帯』をくじにしてみました。

『帯』を読んで心魅かれたら本を手にとってみてください。今まで出会ったことのないタイプの本にめぐりあうかもしれません。くじは無くなり次第終了です。

BOOK 67 新着本

おすすめ新着本紹介

『一冊でわかる平安時代』

大石学監修 河出書房新社

2024年の大河ドラマ『光る君』の舞台は平安時代。時代背景を知っていると、ドラマをさらに楽しめます。



『千年の読書』

三砂慶明 誠文堂新光社

なぜ人生には本が必要なのか。本に人生を何度も助けられてきた書店員が綴る読書エッセイです。心に響く本との出会いの一助に。



『放送委員はにんぎもの』

小松原宏子 ほるぷ出版

保健委員、図書委員など、青空小学校の委員会シリーズの1冊。学校一の人気者が放送委員に。つまらないわけがない!はずなのに……



『自分がえらんだはたらき方』

お仕事インフュージョン編集部 岩崎書店

世の中にはこんなにさまざまな仕事があるということにまず驚き。そしてそこで働く人たちの生の声に触れられることがこの本の魅力です。



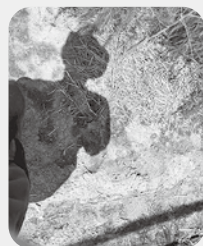
振り返って



2023年も残すところあとわずかとなりました。みなさんにとって今年はどうな年だったでしょうか。

今年も村内6名の方に、『今年を振り返って』という内容で寄稿をお願いしました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございます。

物価高と農業



T.Nさん
(上大池)

私は家族経営の零細農家だが、今年の物価高は非常にきつかった。ガソリン高、肥料や資材は1.5倍から2倍以上の値上がり、そして出荷した農産物は平年通りお値段据え置きである。会合で話せば、多くの農家はモチベーションが下がっている。そんな中、10月からインボイス制度が始まった。直訳すれば請求書という意味だが、国は「適格請求書と呼んでいる。勉強会に出向いたり、調べていくと、どうもこれは免税事業者を無くするための政策であることがわかる。表向きは10%と8%の税率を正確に把握するというものがあるのだが、現状で正確に把握できているので正に建前である。消費税導入のとき3千万円以下は免税されていて、現在は1千万円以下となり、今後は適格請求書発行事業者の登録を促して免税無し。なお一度登録すると辞めるのは難しいようだ。私は登録しないことに決めた。こんな時期にこんな政策を強行した国に不安が募る1年だった。

頑張った長距離走



塩原 勇人さん
(中大池)

僕は今年、長距離走を頑張りました。まず1学期の春から山形小学校の陸上部に入って練習をしました。大会に向けて校庭をいっぱい走りまわりました。キツかったけど足を上げて腕を精一杯振ることを意識して走ったので、校庭5周を4分40秒で走ることができてとてもうれしかったです。大会では1000mを思いっきり走って3分35秒23でした。先生にタイムが去年より30秒縮まったと言われてとてもうれしく、一生懸命練習したかいがありました。そして夏の後半は学校の持久走大会に向けて、道路やスカイパークで走りました。そして持久走大会では最初2位で走っていたけれど4位になってしまい、目標だった1位が取れなくてものすごく、くやしかったです。でもなぜか達成感があります。5位までが撮ってもらえる写真撮影ができて心に残っています。

Looking back



古畑 透さん
(小坂)

ようやくコロナ禍も収まり、家庭や仕事の予定、気象情報と常に睨めっこして、1年中大好きな釣りに川や湖、海へと行って来ました。釣果はまずまず？でしたが温暖化や異常気象の影響が年々見られ、例年ならこうだ！とはいなくなってきましたが、今はその変化も楽しんでいきます。また野球は観るのもやるのも大好きで、早起き野球の他に50歳以上のチームにも参加させて頂き、新しい仲間と楽しい野球が出来ました。WBC侍ジャパンの劇的な優勝からドラマの『下剋上球児』まで、どっぷり野球観戦も楽しみました。

でも、とても悲しかった事が1つ。いつも一緒だった愛犬が突然具合が悪くなり、家族皆に看取られて14歳で天国へ行ってしまいました。悲しすぎて今も写真や動画を見て会いたくなってしまいます。会いたいな…。


世の中の出来事

(太字は村内)

- 1月・やまのこ保育園20周年記念行事
- 2月・山形っ子学びの展示発表会
- 3月・WBCで日本が14年ぶりに優勝
- 4月・鉢盛中学校標準服導入
- ・フィンランドがNATO加入
- ・宮古島沖で陸自ヘリが消息を絶つ
- ・長野県市町村対抗駅伝村の部V2
- 5月・上大池機械化協業組合解散式
- ・WHO新型コロナウイルス緊急事態宣言終了
- ・日本、新型コロナウイルスを5類に移行
- 6月・彌磨太鼓10周年記念コンサート
- ・ロシアでワグネルグループが武装蜂起
- 7月・韓国で記録的豪雨
- ・山形少年サッカークラブ40周年
- 8月・ハワイ・マウイ島で山火事
- ・山形じゃんずら4年ぶりに開催
- ・二十三歳の集い
- ・はたちの集い
- 9月・総合防災訓練
- ・モロッコ王国でM6.8の地震
- ・リビア東部で大雨、洪水
- 10月・トレーニングセンター一部改修工事着工
- ・パレスチナ・イスラエル戦争勃発

毎年恒例の当コーナーですが、今回、部員で話し合っ、X(旧Twitter)やInstagramなどのSNS(ソーシャルネットワークサービス)全勢の昨今、昨年までのような実名と顔写真でなくても良いのは、と小さい改革をしました。イニシャルとアイコンの方が、繊細な心の内を表出しやすいかもしれないと考えてのことです。ただし、地区名を明記することで、完全にフィクションにならぬよう配慮したつもりです。

2023年を



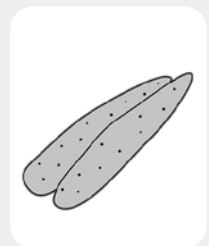
武道



桐原 貴弘さん
(下大池)

私事ではありますが『蒼成館』と言う道場名で合氣道を指導しております。今年は久びさに活動が再開し、春に2度私の師匠と共に名古屋へ技術指導に行き、秋には東洋大学の講習会へ参加しました。久しぶりに会えた先輩方や仲間達と稽古することが出来て幸せで充実した時間を過ごせました。同じ志を持つ仲間が大変な時期を無事に乗り越えていたことが嬉しかったです。近年各地で戦争が起きています。そして、残念ですが日本の治安も悪化の一途をたどっています。人間の『負の力』は強く周囲も巻き込み、悉く人の心を飲み込みます。私の稽古する合氣道とは『愛と和合』の精神の武道。元来武道は人の『正の力』を育てる伝統であると考え、これからも探求、研鑽し続け後世へ伝えていこうと思います。まずは自分の周囲から。家族と友人、仲間を大切にしていけます。ちなみに私は合氣道五段、妻は元弓道家で初段、3人のわが子は柔道修行中です。

スイカで笑って、長芋で泣いて



K.Oさん
(上竹田)

春5・6月の70〜80mmの降雨、夏が暑く小雨で『笑いと泣き』を運んできました。美味しいスイカの豊作、市場価格の高値安定、9月出荷分まで値が下がりません。おかげで一時的金の支給となりました(笑)。長芋が成長する夏に雨が少なく、水分をもとめて芋が壁に貼り付き曲がって成長し、かまぼこ型になってしまいました。また、水をもとめて芋は下に伸び、丈も長くなり、掘るとき折れやすくなります。春の大雨が、掘抜き後のサクサクの土を固くして、先端がガチョウの口のように尖って、折れを助長します。土が降雨で硬くならず、夏の天候に恵まれると、適度な丈と目方がある長芋になりますので、引っ張ると直ぐに抜けて収穫がとて楽になります。棒でつついて、最後に抜いたとき折れてしまうとも出ません。でも、味はむしろ例年に増して!!美味しいので是非食べてください!(笑)

2023年 四国の旅



金子 和枝さん
(下竹田)

新型コロナウイルスの5類への移行により、再び私達の生活に活気が戻りつつあります。我が家と言え、4年前に計画をし、頓挫していた四国旅行を遂にこの夏決行しました。瀬戸内海を眺めながら、明石海峡・大鳴門橋を渡り、四国に上陸。鳴門のうず潮、高知の桂浜海岸の大自然に心を躍らせました。金刀比羅宮参り、高知城・松山城の城巡りを行い、龍馬記念館では、銅像の坂本龍馬と握手。歴史に思いを巡らせました。讃岐うどん、鯉のたたき、道後温泉のぼっちゃんだんご等、郷土の名物も堪能することができました。愛媛のゆるキャラ、みきゃんちゃんが可愛かったです。大阪・広島を經由しての5泊6日の四国横断弾丸ツアーでしたが、四国の風土・歴史・文化、そして人びとの温かみを感じる素敵な旅となりました。やはり旅はいいものです。

～館報やまがたへの情報提供 募集中～

身近な情報・感想をお寄せください!

フォーム 右下のQRコードを読み取ってください。



電話 山形村公民館
☎0263-98-3155

いかがでしたでしょうか。実はこのコーナーの存続自体から考え直しました。検討を重ねる中で、これまでの800号を超える公民館報の歴史において、毎年末のこの寄稿文に当時の世相を表す資料的価値がとても高いことに気づき、残していく判断をしました。村誌やまがたから受け継いだ経緯のある館報やまがたは、これからも後世に村の様子を伝え続ける使命があります。今年の寄稿文も、未来の村民が2023年を具体的に理解する一助になることでしょう。

11月・総合文化祭4年ぶりに開催
・山形村そばと道祖神巡り
ロケイニング開催
12月・お昼と夕方のサイレンの鳴る時間36秒から24秒へ試行変更

学びと

笑顔いっぱい山形笑楽好

11月11日(土) PTA主催あそびの広場

11月18日(土) 学びの発表会・共育ち企画



PTA主催あそびの広場

あそびの広場では地域の方を講師に迎え、「消しゴムはんこ教室」・「石けん教室」・「イラスト教室」・「木工教室」・「スポーツ体験」と5つの講座が行われました。大勢の児童や保護者が参加され、講師の方が子どもたちのために熱心に教えてくださいました。児童たちのキラキラした笑顔や時には真剣に取り組む姿勢が印象的でした。この講座を通じて普段の生活では体験できないことが学べた良い機会になったのではないのでしょうか。保護者からは「来期もぜひ開催していただきたい」との声も挙がりました。



この日は信州「教育の日」に因んで小学校でも山形村共育の日と題し、午前中は小学生による『学びの発表会』を行い、午後は子ども育成関係諸団体による企画が行われました。まず学びの発表会では学年ごとに決めたテーマに沿って、体育館や教室などで発表しました。中でも1年生は、アサガオの成長をテーマに成長過程を歌やスライドを通して発表しました。また、咲いたアサガオで叩き染めをし、貼り付けて作成された提灯は見事でした。午後の共育ち企画では焼き芋大会や育成クラブの活



学びの発表会・共育ち企画 ともそだ

動紹介、巻きずしづくり体験など多くの企画が用意され、見て・感じて・味わってと参加者が大いに楽しみ、学べるイベントになりました。最後にはPTA講演会も開催され、村内で就農されている松本山雅FC元選手の高崎寛之さんをお招きし、『夢に向かって』と題して講演をしていただきました。

この企画を通して子どもたちに携わるさまざまな団体の活動を知ることができ、参加した大人たちも子どもたちの成長を見守り、感じ合う一日となりました。

おくやみ

本庄 理恵子 82歳 上大池
 藤崎 民子 75歳 小坂
 籠田 次郎 83歳 小坂
 唐沢 節子 91歳 上竹田
 上條 富士子 88歳 上竹田

おめでた字・題

大屋 遥斗 武士 小坂
 上條 希歩 将也 小坂
 花奈

風

(敬称略)



観光協会主催の『山形村そばと道祖神をめぐるロゲイニング』が初開催されました。11月にしてはとて暖かな、街歩きには絶好の天候に恵まれたこの日、富山、新潟、東京など村内外から44組、120人がミラ・フード館に集まりました。

競技説明の後、参加者に地図が配られ、各チームはまず競技の肝であるルート決めの作戦会議を行いました。外に出て全員でカウントダウン！10時からいよいよ競技開始です。颯爽と駆け出すチームもあれば、まずはバス停に向かうチームもあり、各チーム作戦通りに村内へ散って行きま

『新そば』は今回の目玉です。そばを食べることで1店舗100点、3店舗で食べれば400点の特大得点が得られる設定になっていました。風味豊かな新そばをぜひ味わってもらおうという意気込みが伝わってきます。

制限時間は15時まで。チェックポイントを巡り終えて戻ったチームは、ゴールのミラ・フード館に設置されたデジタル時計の前で証拠写真を撮ります。すかさず運営が用意したフォームから必要事項を入力、写真はLINEでアルバムを作って転送しました。

表彰式では、はじめに特別賞が設けられていて、最高齢男・女、最年少、村外からの参加、高校生、たくさん食べた賞、地域貢献賞の発表がありました。入賞者には賞状と手作りケチャップの瓶詰めが贈られました。そして、得点別のファミリー、女性、男性、男女混合部門の結果発表と表彰に移ります。今回、完全制覇は1300点満点で達成チームは出ませんでした。最高得点はファミリーチームの1位が獲得した1240点で、踏破距離は驚きの27kmだったそうです。

入賞賞品は賞状と花束ならぬ「ねぎ束」が贈られ、1位は副賞で長芋10kg、2位は長芋5kg、3位には野菜の詰め合わせが用意されていました。また、村内産リンゴ（サンフジ）1個が参加賞として配られ、いずれも山形村らしい賞品でした。

ファミリー部門で3位に入った須山暁仁さん（小4・小坂）は「めったにないイベントで、とても良い体験ができました。高ポイントの大きなやまつちとそば集落で出会えたのはラッキーでした」と話してくれました。そして、多くの参加者が揃って「そばが美味しかった！」とやや興奮気味に話していたことについて、観光協会会長の林和男さん（下竹田）は「私はそば屋でもあるため、たいへん嬉しく思います」と喜びの声を上げていました。また、林会長の



男女混合部門1位!!



言葉の中で「コンパクトな村であるため、いろんなところをめぐれる」は、まさにその通りだと思いました。

筆者が参加した感想は、車では行けない場所や今まで見えなかった風景や発見が多く、何よりのんびりとした時間を満喫できたことが印象的でした。必ず写真を撮る必要があるの思い出作りにも良い企画です。本気で回るもよし、ゆる〜く散歩するも良しの初のロゲイニングは大成功だったのではないのでしょうか。

ちょっと興味が湧いた人向けメモ「観光ロゲイニング」とは？

ロゲイニングとは、制限時間内に地図上のチェックポイント（以下CP）を回り獲得点数を競うチームスポーツです。観光ロゲイニングは、山野を探索するロゲイニングの魅力はそのままに、観光、グルメ、体験を一度に満喫できる、まちめぐりアクティビティ“に昇華されています。

スタート直前に配布される地図を見て、各チームはどのようにCPを回るか計画を立てます。事前情報がないため高得点を狙うにはどんなルートにしたらよいか、まず考えることが最初のポイントであり、競技中に柔軟にルート修正を行えるのも醍醐味です。CPをまわった証拠は写真を撮ってゴール後に提出します。徒歩または走るのが基本ですが、公共交通機関を使用可能な場合もあります。今回はアルヒコバスが利用可能でした。また、いくつかの隠し要素が設定されていて、思わぬことが高得点であったり多少の運要素もゲーム性を引き上げています。

見ハードな競技と思われがちですが、実際は徒歩だけでも問題なく、上級者から初めての人まで、老若男女が一緒に楽しめるスポーツです。

除雪 にかける

令和5年度 除雪委託業者のみなさん

写真左から
(株)ヤマジンさん (株)川上建設さん
(有)佐和工業さん (株)美野里さん 平沢土建(株)さん



山形村役場建設水道課 担当者のコメント
山形村では、降雪時の安全で円滑な交通を確保するため、積雪10〜15cmを目安に主要道路から順に除雪作業を行います。村内全ての道路の除雪は非常に困難です。除雪には、皆さんの協力が欠かせません。地域ぐるみの除雪にどうかご理解とご協力をお願いします。

山形村役場建設水道課 担当者のコメント
山形村では、降雪時の安全で円滑な交通を確保するため、積雪10〜15cmを目安に主要道路から順に除雪作業を行います。村内全ての道路の除雪は非常に困難です。

5社を代表して平沢土建(株)社長の平沢朋之さん(中大池)に話をお聞きすると、「いち早く地域の方が安全に道路を利用できるように心がけて除雪します」と話してくださいました。この会議を通じて除雪委託業者の皆さんへの感謝とともに、除雪にかける熱い思いが感じられました。

12月も残りわずか。いよいよ本格的な雪の季節がやってまいりました。11月22日(水)に山形村役場にて、除雪会議が行われました。会議では契約内容の確認や昨年度までの事例を踏まえて、除雪・融雪剤の散布がより安全かつ効率的に行えるように方法や注意点を確認しながら議論しました。会議の内容に耳を傾けてみると、次の3つのことが分かりました。①除雪道路には優先順位があり、朝の交通量の多い時間帯までには除雪を済ませられるように、業者の方は前日から天気予報を細かくチェックし、暗いうちから巡回をして道路の状況を把握するなどして出動していること。②マンホールや構造物など無積雪時や日中には確認できるものが見えない中での除雪に苦慮されていること。③住民の安全確保のためにも水路や住居付近などには雪を落とさないよう、物凄く気を遣われていること。以上のことが分かりました。

チャレンジ! 11月号の答え

CHALLENGE 館報

8つの違い見つけられた?



山形村開村150周年記念 超マニアック三択クイズ!の答え

問題1 山形村には、梓川の水が農業用水として田畑を潤しています。幹線水路の一つである国営(中信平)右岸上段幹線に取水しているダムを一つ選んでください。

正解は ①稲核ダム

問題2 山形村でかつて盛んに生産された商品作物のうち、今も作られているものを一つ選んでください。

正解は ③唐松の苗木

梓川から山形村には、黒川堰、国営(中信平)右岸上段幹線、同右岸幹線の3ルートで水がきています。過去150年における農業の変化は、かつて常襲旱魃地域であった山形村が、灌水によって全国に誇る長芋やスイカ、ネギの産地へと変貌を遂げました。

灌水前の商品作物は、蚕の繭〜畑で桑を育て、桑の葉をお蚕さまに食べてもらい、繭を作る。村内各地に蚕玉様が祀られています。

そして、松本平西山沿いの旧波田町(現松本市波田地区)、朝日村、山形村は、山林種苗-坑木として需要のあった唐松苗木の一大産地でもありました。現在は、合板ベニヤ材として需要が復活し、かつて程の量は無いものの村内で7、8軒が生産に携わっています。

